

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2002-107365(P2002-107365A)

【公開日】平成14年4月10日(2002.4.10)

【出願番号】特願2001-206798(P2001-206798)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

G 0 1 N 15/14 (2006.01)

G 0 1 N 21/27 (2006.01)

G 0 1 N 21/35 (2006.01)

G 0 1 N 33/483 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 8 1 F

G 0 1 N 33/543 5 9 7

C 1 2 M 1/34 F

G 0 1 N 15/14 C

G 0 1 N 15/14 P

G 0 1 N 21/27 Z

G 0 1 N 21/35 Z

G 0 1 N 33/483 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 全血試料と、免疫感作した不溶性担体粒子とを混合して免疫凝集反応を行わせ、得られた凝集反応混合物を、赤血球溶解剤を含む水溶液で希釈することにより赤血球を溶解して測定用試料を調製し、測定用試料の凝集度を測定することを特徴とする全血免疫測定方法。

【請求項 2】 赤血球溶解剤が、界面活性剤である請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 フローサイトメトリの原理を利用したカウンティングイムノアッセイ用の測定装置を用いる請求項 1 ~ 2 のいずれか 1 つに記載の方法。

【請求項 4】 測定用試料をフローセルに導き、フローセルを通過する粒子にレーザー光を照射し、それによって生じる散乱光を検出し、その散乱光強度について、未凝集粒子と凝集粒子とを弁別するための閾値を設定し、各閾値に基づいて、未凝集粒子、凝集粒子を弁別、計数し、前記未凝集粒子数と凝集粒子数とから凝集度を算出する請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の方法。

【請求項 5】 不溶性担体粒子の大きさが、 $0.1\mu\text{m} \sim 20\mu\text{m}$ である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の方法。

【請求項 6】 試料と不溶性担体粒子との混合割合が、 $1:5 \sim 1:20$ である請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載の方法。